

孤立出産の犯罪化に終止符を！

妊娠して帰国させられるのを恐れたベトナム人技能実習生グエットさん
孤立出産で死産した子の遺体を「適切に扱わなかった」と有罪に

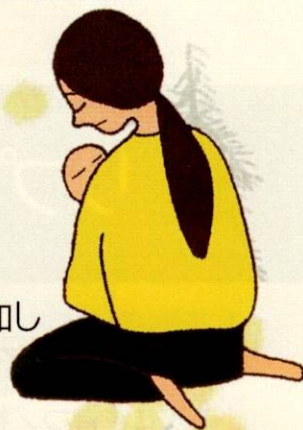
2026年1月13日 無罪を求めて
47件の一般意見書を含む上告趣意書及び累計約18,000筆の署名を
最高裁判所へ提出！

同様の事件でリンさんが最高裁で無罪になった後も続く孤立出産の犯罪化
死産直後に冷静な判断を求めること自体が問題

なぜ孤立出産をした女性だけが刑事罰の対象になるの？

外国人・日本人を問わず 日本社会の構造的な問題
解決に必要なのは刑事罰ではなく女性を孤立させない仕組み

林陽子弁護士(元国連女性差別撤廃委員会委員長)が弁護団に参加し
司法の場でリプロダクティブ・ジャスティスの実現を問う！



リプロダクティブ・ジャスティス裁判へのご支援を！

クレジットカードからの寄付

<https://x.gd/pEkei>

コムスタカ

ー外国人と共に生きる会
Syncableの支援サイト



郵便振替・銀行からの寄付

外国人技能実習生権利ネット・北九州
郵便振替:01750-8-84519

ゆうちょ銀行(9900) 179 支店
当座預金 口座番号 0084519

無罪を求める署名

Change.org : <https://c.org/zJnHVVyWWM2>

グエットさんの無罪判決を求める署名は継続して集めています！



連絡先: コムスタカー外国人と共に生きる会 〒 862-0950 熊本市中央区水前寺3丁目2-14-302

Website: <https://kumustaka.org/> Email: kumustakagroup@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/KumustakaKumamoto>

多言語情報「日本でのにんしん」 Website: <https://ninshinJapan.weebly.com/>

死産をした場所で異なる女性の扱い—これって平等？

医療機関で死産した場合

遺体は医療機関が処置
女性は処置を求められない



孤立出産の場合

死産直後の女性に遺体の
「適切な処置」が求められる



リプロダクティブ・ジャスティスとは？

リプロダクティブ・ライツ(生殖の権利)とソーシャル・ジャスティス(社会正義)を組み合わせた概念。1990年代の米国で黒人女性フェミニストらが自らの経験と闘争から生み出した。子どもを持つ／持たないことの「選択の自由」だけでは、貧困、差別、暴力の下で生きる女性の現実を説明できないことから、リプロダクティブ・ライツの議論を「個人の選択」から「社会構造の転換」へと発展させた。国籍、人種、民族、性別、階級、性的指向、障害の有無など、個人がもつ複数の属性が組み合わさって生じる複合的な差別や抑圧を分析する交差性(インターセクショナリティ)の概念を取り入れている。日本でも、外国人女性以外に、障害のある女性、アイヌ・部落・在日コリアン、性的マイノリティー、若年女性、貧困層の女性などが交差的形態の差別を受けやすい。

在日外国人女性にとってのリプロダクティブ・ジャスティスの課題とは？

① 子どもを持たない権利:避妊・中絶へのアクセス

出身国とは異なる日本の制度の例

- ・ 経口避妊薬(ピル)が処方薬で避妊目的では保険適用外
- ・ 緊急避妊薬が簡単に手に入らず高価
- ・ 人工妊娠中絶に配偶者同意要件あり

言語の壁を理由にサービスが受けられない



② 子どもを持つ権利

「産むことを許される人」と「産むことが許されない人」の間に線引きがある
「妊娠したら帰国／退職／退学」と警告されている

③ 安全で健康的な環境で子どもを育てる権利

在留資格「技能実習」「特定技能1号」「留学」の一部に家族帯同の制限がある
産休・育休制度を利用する権利があっても、現実に権利を行使できない職場環境
脆弱な育児支援制度

